

子育てなんでも相談室

Q 6歳、5歳、2歳の男児3人の母です。毎年この時期になると、ああ、今年も子供たちを怒ってばかりの1年だったなあと反省します。「来年こそは改めよう」と誓った今年もやはりダメでした。かわいい寝顔に謝る毎日です。

A わんぱく盛りの男の子を、毎日怒らないで育てているお母さんなんて私は見たことがありません。怒っていいのです。今年でやめておこうなんて思わず、どんどん怒ってください。ただし、お願いが3つあります。

まず1つ。謝る気持ちがあるのなら、寝顔に謝るのではなく起きているときに謝りましょう。子供は、あっさりとしてくれますよ。2つ目は、日頃から「大好き!」「かわいい!」と言葉で伝えましょう。子供は、怒られるのは自分が嫌われているからだと思う傾向があります。とんでもない誤解ですよ。湯船の中が最適です。突然でもいいので、言い

怒ってばかりの1年を悔やむ

ましょう。本心を言えばいいのですから、言いやすいはず。子供はうれしくて仕方がなくなります。

3つ目。子供というのは確かに怒られるようなことをよくしますが、怒らないで済む時間も多くあるはず。そのとき、子供たちに笑顔が起る関わり方をたくさんしてください。

手をつなぐ。突然クイズを出す。お風呂でわざと数滴の水をかける。絵本を5分読んでやる。電車に乗れば景色がよく見える場所に行く。突然くすぐる。子供の好きな音楽をかけてやる。子供の好きなおかずを作る。そして…え? すでにやっていることばかりですって?

そうです。母親は、本人は気づかないかもしれませんが、子供を怒った回数の数倍、子供が喜ぶ関わりをいつも自然にしているものです。だからいつの時代も子供の心の中は、「よく怒るけれど、お母さん大好き!」。それでいいのです。

虐待もどきの怒り方ではない限り、来年もぜひ今のままでいてください。ご家族でどうぞよいお年をお迎えください。(こどもコンサルタント 原坂一郎)